



2021年度 新入学生アンケート結果のご報告

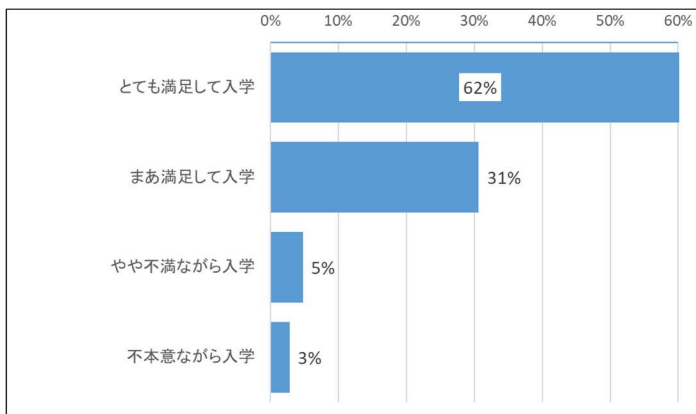
2021年6月に行なった新入学生アンケートの集計結果(抜粋)をご報告いたします。

本アンケートは、毎年入学後約1～2か月の段階で、新入学生の皆さんのご協力を得て実施しているものです。例年はアンケート用紙を配布・回収しているところを、2020年度・2021年度はオンラインの回答フォームでの実施・回収としました。そのため、回答率や回答内容なども大きく異なるため、数値や率は過去の年度と直接比較はできませんが、大学としては、いただいた意見やデータを真摯に受け止め、改善を図っていきたくて考えており、アンケートの全項目の集計結果と記述部分は学内各部署に回覧しました。

新入学生の皆さん、ご協力ありがとうございました。(アンケート回答率 43.1%)

広報・社会連携部広報課、ミッション推進会議、学務部

入学時の心境



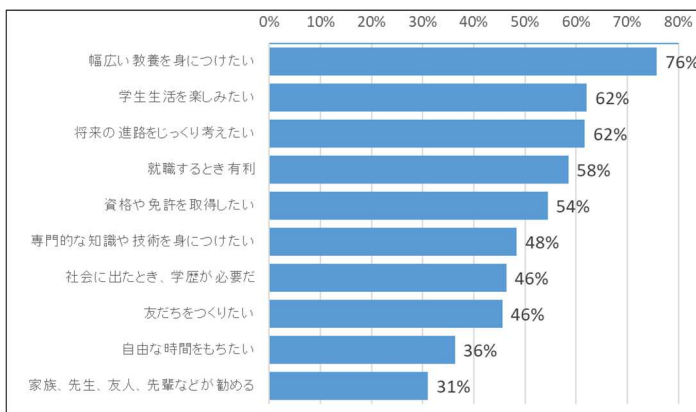
入学時の満足合計は93%。

この時点での満足度は、昨年度は低かったものの、同調査の開始以来の率は80～90%なので、例年どおりの水準に戻った(むしろ例年より高くなった)と言える。

同時に(不満足度)も低く、多くの新入学生が、本学に入学して学ぶことに満足している様子がうかがえる。

(以下、30%以上の回答率の項目をグラフ表示)

大学進学の原因



2020年度から全体的に一人当たりの回答個数が増加し、多くの項目がそれ以前を上回ったが、これはオンライン回答の影響と考えられる。

「幅広い教養を身につけたい」は、例年通り最も高い理由となっており、かつ他の回答と大きな差が生じている。

また、「資格や免許を取得したい」が初めて50%を超え、上位の項目となった。

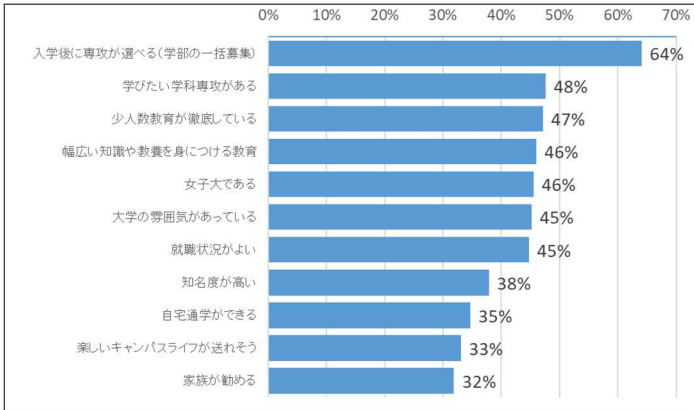
その他、30%以上の高い回答率がある理由にはほぼ変化なく、例年通りの項目となった。

「就職に有利」は2004年頃頃から増加しはじめ、2017年からは理由の第2位だったが、2020年・2021年は他項目が上位になったことで、第4位に後退した。選択率には変化がない。

「学生生活を楽みたい」「友だちをつくりたい」は2019年以前に比べて増加しているが、コロナ禍で対面活動に影響があることの反動と考えられる。



聖心女子大学受験のきっかけ



本項目もオンライン回答の影響と考えられるが、一人当たり回答項目数は2020年・2021年は8～9項目台と増加となった。

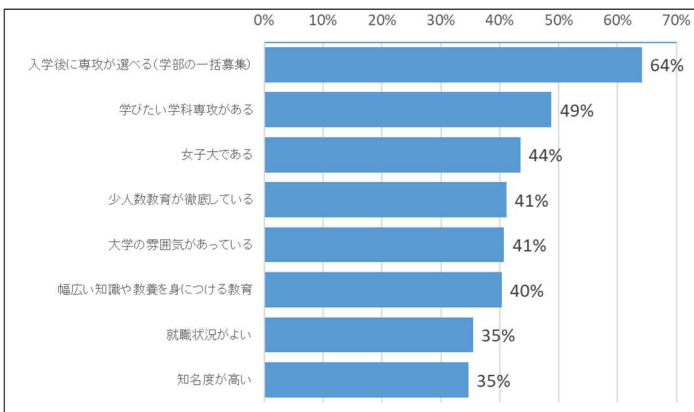
「入学後に専攻が選べる」という本学のカリキュラムの最も大きな特徴を挙げる学生が、2020年度調査に引き続き圧倒的となった。

「女子大である」が増加。初めて40%を超えた。2011年までは30%を下回っていた項目だが、近年徐々に増加している。

その他の上位項目は多少の順位の違いはあるものの、例年と同様。

「就職状況が良い」は、近年50%を超えていたが20年・21年は45%程度に減少。

聖心女子大学に入学を決めた理由



一人当たりの回答項目数は、他項目と同様、オンライン回答の影響で増加している。

「入学後に専攻が選べる」が2020年・2021年ともに64%で、圧倒的なトップとなった。

また、「女子大である」「幅広い知識や教養を身につける教育」「大学の雰囲気がある」「少人数教育が徹底している」が増加。

「学びたい学科専攻がある」は、例年通り安定して高率。

2019年まで連続して第1位だった「就職状況」が急減し、上位項目から落ちた。受験大学や入学大学を決めるのに、就職よりも学びにシフトしてきたのか、アンケート実施方法の差によるものか不明。もう少し経年変化を見たい。

意見・感想 自由記述について

自由記述で意見・感想も書いてもらった。ざっくりではあるが、内容は概ね次の通りに分類される。

- ・「オリエンテーション」「履修」「語学」といった履修やシステマ的な面について
- ・「施設・設備」について
- ・「大学の雰囲気」について
- ・「学生募集や入試」について

なお、2020年度は登校したい・対面授業の希望を記載した新入学生は意見回答者中50%近くになった(曖昧な表現も含める)が、本年度はこうした意見は(当然ながら)大きく減少したものの、友達作り、課外活動等の学生生活の拡充を期待する学生も多くいた。

肯定的な意見を記述してくれた新入学生が多かったが、改善点の指摘の意見も少なくなかった。それらも含めて大学への意見・感想等の記述は全て関連部署へ伝えた。